

焼津商工会議所経営発達支援計画事業 事業評価シート（令和３年度）

委員評価基準

S:目標に達していて、事業の改善・工夫によって成果が著しく認められる
A:目標値にやや及ばなかったが、事業成果は認められる
B:目標値に達しているが、事業成果は認められず、さらなる向上に期待する
C:目標値未達成、事業成果も認められない、改善が必要

総合評価基準

A 評価：各項目評価の S、 A 評価が80%以上
B 評価：各項目評価の S、 A 評価が70%以上80%未満
C 評価：各項目評価の S、 A 評価が70%未満

項目	No	事業名	目標	実績	委員別評価						評価	改善案・提言などのコメント
					1	2	3	4	5	6		
地域の経済動向調査に関すること	I-1	L O B O 調査の公表回数	12	1 2	S	B	S	S	S	S	A	目標に達している 地域経済動向の調査・把握は、商工会議所の重要な事業であり、着実に実施していることを評価する。 丁寧な情報開示が継続されている。より直感的に理解できるよう、アクセス数など見ながら表示の更なる改善を期待したい。
	I-1	個人事業者経営実態調査の公表回数	1	1	S	C	S	S	S	S	A	対象事業者数が140社程度になっており、年々減少傾向にあります。昨年度までの目標である150社程度を目指していただきたいと思います。 目標に達している 地域経済動向の調査・把握は、商工会議所の重要な事業であり、着実に実施していることを評価する。 丁寧な情報開示が継続されている。事業者が理解しやすいよう、数字の見方や考え方などを解説するコメントが添えてあるとなお良い。
	I-1	当所分析の経済状況調査の公表回数	4	4	S	B	S	S	S	S	A	目標に達している 地域経済動向の調査・把握は、商工会議所の重要な事業であり、着実に実施していることを評価する。 丁寧な情報開示が継続されている。統計結果と景況感とのズレなど、他の分析結果を踏まえた解釈などが付されてても良いのではないかな。
	I-1	焼津市と共同実施の管内景況調査	1	1	S	A	S	S	S	B	A	1, 500社程度への調査に対し、回収が140社と非常に低いため、回収率を上げる取り組みを実施していただきたいと思います。 目標に達している 地域経済動向の調査・把握は、商工会議所の重要な事業であり、着実に実施していることを評価する。 1500社程度の調査先で回収率想定20-30%に対して、140社からの回答であった。調査数が予定通りであった場合、かなり低い回収率となっているため、来年度以降の改善を期待したい。
需要動向調査に関すること	I-2	新商品・改良商品の調査対象事業者数	3	3	S	C	S	A	S	S	A	3事業者の3商品について調査対象としていますが、対象事業者や商品数をもっと増やしていただければと思います。 アンケート調査の実施と分析によって、小規模事業者の意識づけや調査に関する改善点を導いている。事業成果に値する。 中小事業者が不得手とするマーケティングの資質向上に寄与する事業であり、着実に実施していることを評価する。地域中小事業者のマーケティング力向上のため、更なる取り組み強化に期待する。 大変興味深い事業。短期的な定量効果があれば望ましいが、それだけでなく、中長期で参加した事業者の製品開発マーケティングにどのような変化が生まれたかの定性的な追跡を期待。
	I-2	試食・アンケート調査対象事業者数	6	5	A	C	A	A	A	A	A	目標数値に届かなかったものの、自主開催で試食調査の場を設けたことは評価に値する コロナ禍の影響で大規模展示会の出展は見送られたが、自主開催の商談会にてバイヤーから意見を収集し、参加企業にフィードバックしている。事業成果に値する。 中小事業者が不得手とするマーケティングの資質向上に寄与する事業であり、着実に実施していることを評価する。地域中小事業者のマーケティング力向上のため、更なる取り組み強化に期待する。 件数は未達だが、理由がありやむを得ないものと理解できる。上記の調査事業にも共通して言えるが、取組によって得られた視点は、参加事業者以外にとっても有意義なものであり、参加事業者の了解を得て（あるいは特定されないマスキングを行い）会報誌やWEBサイトでポイントになる情報を開示してはどうか。

経営状況の分析に関すること	I-3	経営分析件数	35	30	A	C	A	A	A	A	A	期間内には目標数値に届かなかったものの、現状では分析件数を伸ばしており、継続支援をお願いしたい コロナ禍の影響で、商工会議所は業務に追われ、経営発展支援計画伴奏型支援事業の実施時間が減少した。その影響で目標件数に届かなかったが、小規模事業者の中で経営分析を行った後、事業計画策定、進捗管理などの経営指導を行っている。事業成果に値する。 経営支援の最重要事業であり、今後も積極的な取り組みを期待する。 専門的なスキル・経験を必要とする業務であり、当該業務を一定以上のレベルで出来る職員ばかりとは限らないものと思料する。 来年度以降目標件数が一層増加していく中、どのように当該支援業務の時間を確保するか、組織的なバックアップや体制作りについて検討いただきたい。
	I-4	事業計画策定件数	33	30	A	C	A	A	A	A	A	期間内には目標数値に届かなかったものの、現状では順調に策定件数を伸ばしており、継続支援をお願いしたい 継続的に経営改善を図るうえで、事業計画策定は最初の一步にあたるため、目標達成に向けた取り組みを行っていただきたいと思います。 目標件数にやや届かなかったが、事業計画策定とスケジュール管理や課題問題点への克服法を経営者とともに取り組んでいる。事業成果に値する。 経営支援の最重要事業であり、今後も積極的な取り組みを期待する。 専門的なスキル・経験を必要とする業務であり、当該業務を一定以上のレベルで出来る職員ばかりとは限らないものと思料する。 来年度以降目標件数が一層増加していく中、どのように当該支援業務の時間を確保するか、組織的なバックアップや体制作りについて検討いただきたい。1-3を経て1-4に取り組む以上、目標必達するためには特定人員に業務が集中しないよう配慮が必要。
	I-5	フォローアップ対象事業者数	33	30	A	C	A	A	A	A	A	目標には及ばないものの、昨年度を上回る事業者支援を実施できており、引き続き目標達成を目指して取り組んでいただきたい。 コロナ禍の影響で目標件数にやや届かなかったが、事業者の努力が十分確認された。事業成果に値する。 計画策定後のフォローを着実に実施しており、評価する。
	I-5	頻度（延べ回数）	50	55	S	A	S	S	S	S	A	目標数を達成している。 計画策定後のフォローを着実に実施しており、評価する。 1社あたり1回以上のフォローアップ回数になっており、決算時のみ等でなく適宜必要な経営支援が行われているものと思料される。支援先に対し、決算・半期試算表をもとに年2回接触するサイクル（事業者は試算表を作る）を定着させてほしい。
事業計画策定後の実施支援に関すること	I-5	売上増加事業者数	13	11	A	C	A	A	A	A	A	困難な状況下で30社中11社が売り上げ増加したことは、的確な支援ができたことを示している コロナ禍の影響で目標件数にやや届かなかったが、事業者の努力が十分確認された。事業成果に値する。 経営指標向上の結果が出ており、現在の支援内容が適切に行われていると評価できる。 コロナ禍の中、売上増が難しいことは十分に理解出来る。その中で、当初目標比の達成率85%は大変優秀な結果と思われる。
	I-5	利益率1.5%以上増加の事業者数	5	4	A	C	A	A	A	A	A	コロナ禍の影響で目標件数にやや届かなかったが、事業者の努力が十分確認された。事業成果に値する。 経営指標向上の結果が出ており、現在の支援内容が適切に行われていると評価できる。 対象が法人ならば営業利益率か、経常利益率かで支援結果の評価は別れる（協力金等が営業外収益で計上されるため）。もともとコロナ禍の中、利益増が難しいことは十分に理解出来る。

新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	I-6	展示会事前セミナー開催件数	1	1	S	B	S	S	S	S	A	1部・2部共、良いセミナーだと思う。商談会参加事業者でなくとも聴講できる方が望ましいと思う。 目標数を達成している。 事業者単独では取り組みが難しい内容であり、今後も積極的に実施して欲しい。 売り手が欲しい商品を考えるきっかけとなる良いセミナー。オンライン配信するなどセミナー受講者の増加を図るなど、事後の展示・商談会参加有無に関係無く、受講者を増やす工夫があったか。
	I-6	展示・商談会出展事業者数	7	5	A	B	A	A	A	A	A	セミナー聴講者を広く募集し、聴講により出展に繋げる形がとれると良いと思う。 コロナ禍の影響で目標件数にやや届かなかったが、自主開催商談会を開催した。事業成果に値する。 事業者単独では取り組みが難しい内容であり、今後も積極的に実施して欲しい。 やむを得ない理由（事業の廃止、コロナ禍による取止め）の未達である。ただ、コロナ禍でむしろバイヤーの関心が既存商品から移り変わるなど商談機会はむしろ生み出しやすい状況でもあり、オンライン商談等の企画が出来ればなお望ましかった。
	I-6	上記展示・商談会成約件数	11	2	C	C	C	A	C	C	C	セミナーの内容や、バイヤーのアドバイスを多くの事業者に伝えることが大切 コロナの影響を受け展示会の参加取り止めなど、機会が減少したことによる要因が大きいと思うが、事前のニーズ調査や卸会社の調整など、サポートをしていただきたいと思います。 自主開催商談会の数値だけであり、目標の成約数と開きがあるがやむを得ない。商談前セミナーの講義内容が参加者から評価が高いということであるので、今後は積極的な商談会への参加を呼び掛けていただきたい。 成約件数は2件に留まったが、次年度に向けて改善案を導いている。事業成果に値する。 I-2によるマーケティング力向上支援と合わせて、ニーズに沿った提案による成約率向上を目指して欲しい。 やむを得ない理由（事業の廃止、コロナ禍による取止め）の未達である。ただ、コロナ禍でむしろバイヤーの関心が既存商品から移り変わるなど商談機会はむしろ生み出しやすい状況でもあり、オンライン商談等の企画が出来ればなお望ましかった。
	I-6	プレスリリース資料作成支援者数	5	2	C	C	A	A	A	C	C	目標には達成していないものの、マスコミに取り上げられることによる影響は大きいため、支援事業者数の増加に向けて取り組んでいただきたいと思います。 マスコミに取り上げられた支援企業先は売り上げが増加していることから、支援先数の目標は達成できていないが、成果はみとめられた。 目標件数に届かなかったが、マスコミに取り上げられた2件は売り上げ増加に繋がった。事業成果に値する。 事業者単独では取り組みが難しい内容であり、今後も積極的に実施して欲しい。 コロナ禍でむしろメディアはネタを探していた。展示会等の対人事業よりも明らかに実施しやすい支援アプローチであり、未達なのは残念で改善余地が大きいと思われる。
	I-6	マスコミ掲載・放映件数	2	2	B	B	S	S	S	B	C	目標数を達成している。 事業者単独では取り組みが難しい内容であり、今後も積極的に実施して欲しい。 上記の理由から、（コロナ禍でむしろメディアはネタを探していた。展示会等の対人事業よりも明らかに実施しやすい支援アプローチであり、未達なのは残念で改善余地が大きいと思われる。）プレスリリース支援が適切に行われれば目標を上回る支援成果が出せたのではないかとと思われる。
	I-6	上記マスコミ掲載等による売上増加事業者数	2	2	B	B	S	S	S	B	C	目標数を達成している。 事業者単独では取り組みが難しい内容であり、今後も積極的に実施して欲しい。 上記の理由から、（コロナ禍でむしろメディアはネタを探していた。展示会等の対人事業よりも明らかに実施しやすい支援アプローチであり、未達なのは残念で改善余地が大きいと思われる。）プレスリリース支援が適切に行われれば目標を上回る支援成果が出せたのではないかとと思われる。

経営指導員等の資質向上に関すること	Ⅱ	職員の資質向上に向けた研修受講の計画的取り組み状況について		S	B	S	S	S	S	A	事業者への支援・指導を行う経営指導員の資質向上は非常に重要なため、積極的に研修等へ参加していただきたいと思います。 目標に達しており、成果が認められる 中期行動計画比で上回る計画的な受講が出来ている。
		職員間の情報共有とミーティングの開催について		S	B	S	S	S	A	A	目標に達しており、成果が認められる 評価情報が無く、評価が困難である。
		スキルアップの研修会受講状況について		S	B	S	S	S	S	A	目標に達しており、成果が認められる I-2・I-6 支援能力向上のため、民間主催のマーケティング分野研修を受講してみるのも一考である。 中期行動計画比で上回る計画的な受講が出来ている。
他 の 支 援 機 関 と の 連 携 を 通 じ た 支 援 ノ ウ ハ ウ 等 の 情 報 交 換 に 関 す る こ と	Ⅲ	志太3市商工会議所・商工会 広域連携相談事業		S	B	S	S	S	S	A	目標に達しており、成果が認められる オンラインでの受講選択肢を提示することで、大勢の受講者を確保することができている。ただ、志太3市の事業者数比で言えば、焼津商工会議所会員の受講者数をもっと伸ばしたいところであり、次年度以降の参加者確保に向け改善を期待する。
		日本政策金融公庫との情報交換会		S	B	A	S	S	A	A	目標に達しており、成果が認められる 公庫側の意向もあり、年1回の開催となっている。相手のあることであり、やむを得ない。
		静岡県信用保証協会との情報交換会		—	—	—	—	—	—	—	コロナウイルス感染症拡大のため中止 保証協会側の意向で中止となっている。相手のあることであり、やむを得ない。次年度以降はオンラインでの開催など代替案も検討したい。
		税理士会と藤枝税務署管内関係団体との 打ち合わせ会		S	B	S	S	S	S	A	目標に達しており、成果が認められる 予定通り、実施されている。
		焼津市経済部との定例会議		S	B	C	S	S	S	C	関係団体との意見交換は、情報収集だけでなく課題解決や手掛かりに繋がることもあるため、積極的に開催していただきたいと思います。 定例連絡会であり、具体的な事業に関する意見交換が十分できていない 目標に達しており、成果が認められる 具体的な次年度の改善方針も記されている。
地域経済の活性化に資する取り組みに関すること	Ⅳ	焼津みなとまつり		A	—	C	—	A	—	—	コロナ感染症拡大の防止の観点から中止となった。 コロナウイルス感染症拡大のため中止 中止のため、評価できず。
		焼津市水産業クラスター協議会		S	B	A	S	S	S	A	目標に達しており、成果が認められる youtubeを使った審査など、コロナ禍でも事業継続できるよう創意工夫されている。
		志太3市（焼津・藤枝・島田） 合同企業ガイダンス		S	B	A	S	S	S	A	目標に達しており、成果が認められる オンラインを使い、コロナ禍でも事業継続できるよう創意工夫されている。
		地元企業魅力発見バスツアー		S	B	A	S	S	B	C	目標に達しており、成果が認められる 参加者、参加企業から不満が確認できているが、何が原因で不満となったのか、考察が求められる。

総合評価	課題・目標と事業の整合性・連動性など 総括コメント									B	困難な状況下でも成果を上げている企業があり、継続的な支援は一定の効果を上げており、設定した課題・目標と事業は整合がとれていると考える。 支援事業所数を確保することも重要であるが、消費者需要動向やバイヤーからのアドバイス等を事業者に広く伝えることも、今後の支援の効果を上げるポイントになると考える。 地域の経済動向調査は、成果が見えにくいながらも、全体の傾向や事業所の実態を把握する上で必要な調査なため、より広範に実施できるよう取り組んでいただきたいと思います。 また、新型コロナウイルスの影響により、商工会議所の活動にも様々な影響が出ている中、中小事業者への支援に継続して取り組んでいただいておりますが、新商品の開発、販路拡大、事業計画策定など、事業者の参加等を積極的に促進していただき、より多くの事業者に対して実効性のある支援を実施していただきたいと思います。 新型コロナウイルスの影響がある中、燃料価格高騰や原材料価格高騰など、事業者にとって厳しい社会情勢が続いているため、個々の事業者の取り組みだけでは乗り切ることが困難です。会員企業・地域経済の活性化のため、引き続き支援をお願いします。 コロナ禍により影響を受けた事業者に対して、国等の支援策等の手続を積極的に行う中での事業推進となったため、すべてにおいて十分な取り組みができない状況があったが、経営分析から一貫した支援で経営者と事業計画の実行、実現に取り組んだ支援事業所先では、売り上げ増、利益率向上が図らせていることや、マスコミに取り上げられた支援企業2社においても売り上げ増加につながっている。このような成果を踏まえ、引き続き意欲的に経営改善に取り組む小規模事業者を支援していただきたい。 ・昨年と同様に本年度も、コロナウィルス感染症対策によるIT活用と新たなビジネス環境の整備が進んだ。これらの環境変化をマーケティング機会として捉え、新たなビジネスチャンスとして経営の糧にすることが望ましい。消費者は自宅での滞在時間が増え、在宅ワークや在宅スタディなど、ITを活用した新しい生活様式が生まれた。その一方で外出機会が減少し、外食、観光、娯楽サービスなどの需要が冷え込み、それらの経営に関して大きな打撃となった。この環境に適合した商品開発が望まれる。例えば焼津の水産加工業者を例にとれば、外食から内食への変化に対応した商品開発と販売チャネル構築、価格、プロモーションも然りである。 ・本事業をスタートして4年の時間が経過した。はじめの頃と比べるとマーケティング志向の具体的な取組と成果が確認できる。例えば消費者需要動向調査においては、市場細分化と顧客の類型（ターゲット設定）を通じて、製造業者は自分が作りたいものではなく、顧客が求めるものを生産したほうが売上増に繋がることを知った。この繰り返しで、さらに知識を深め、企業経営に貢献するものと考えられる。 ・販売先小売業との関係性も強化されつつあると評価できる。人口減少社会において、より一層企業間競争が激化する小売業も、自社の企業成長の活路として、消費者ニーズに合致した商品の品揃えを強化する。本事業においては、特にバイヤーからの意見収集を強化していることが伝わった。今後もより一層、マーケティング志向に基づいた活動が期待できる。 全体的に各事業の目標値を達成しており、本計画のPDCA管理が組織内に浸透している印象であり評価する。なかでも、I-3・I-4は商工会議所が担う経営支援の最重要事業であると思われ、コロナ影響での別途業務が加わり多忙であるなか、積極的に実施したと評価する。また、計画策定後のフォローアップにより経営指標を把握した事業所PDCA管理支援も着実に実施しており、個々の会員事業者へのきめ細かな支援実態が垣間見られた。一方で、I-6の個別マーケティング支援については、成約件数が目標値に未達であり、更なる取り組み強化が求められる。個別事業所のマーケティング力向上は一朝一夕に実現できるものではなく、I-2事業とも連動して継続的な取り組みを行って欲しい。 Ⅲ・Ⅳについては、地域経済の担い手として関係各所との連携を図り、十分取り組んでいると評価する。以上により、全体評価をSと評価する。
											いずれの事業においても具体的な目標値が定められ、コロナ禍であってもそれを達成するよう創意工夫している様子が見受けられる。 反面、件数にフォーカスされた報告書であり、中身（事例）が見受けられない点について、物足りなさを感じた。それでも、大変良い高度な支援が継続的に行われているのが伺い知れた。 伴走型支援を通じて支援と成果がリンクした成長企業を作るのが本政策の意図かと思われるため、ぜひとも事例について積極的な開示（評価者だけでなく、会員に対しても）を期待したい。それが結果的に、いまは会議所事業に無関心である企業が、会議所の支援を期待し、それがより大きな支援結果を生み出す循環に繋がるのではないかと期待したい。